

港灣工學

高等土木工學  
第十四卷

鈴木雅次

SHc  
T-14  
2524

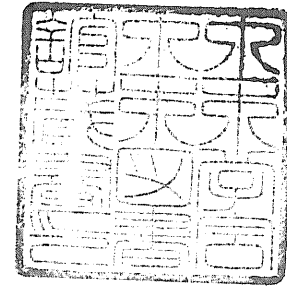
U. Anaka

1931

昭和39年11月16日  
寄贈者 田中豊氏

# 港灣工學

鈴木雅次著



名著100選圖書

登録	昭和40年5月26日
番号	第 2524 号
社団法人	土木学会
附属	土木図書館

東京

常磐書房版

## 目次

第一章	港灣總論	1
第一節	港灣の概念	1
第二節	商港	4
第三節	工業港	7
第四節	漁港	8
第五節	軍港	9
第六節	港灣の要素	10
第七節	築港の概念	14
第二章	地形、水深、地質、風、潮汐、潮流	18
第一節	港灣調査全般の概要	18
第二節	地形	22
第三節	水深	23
第四節	地質	26
第五節	風	29
第六節	潮汐	32
第七節	潮流	35
第三章	波浪	38
第一節	波浪一般	38
第二節	浪高	44
第三節	波力	53
第四章	船舶、船荷	61

第一節	船 舶	61
第二節	船 荷	67
第三節	荷 役	72
第五章	築港用材	75
第一節	木 材	75
第二節	鐵 材	77
第三節	石 材	78
第四節	砂利と砂	81
第五節	混 凝 土	81
第六節	鐵筋混凝土	87
第六章	築港用機械	108
第一節	機械一般	108
第二節	浚 渫 機	108
第三節	其他主要機械	118
第七章	築港工専用の設備	126
第一節	設備一般	126
第二節	方塊製造場	126
第三節	造函工場	133
第四節	採石工場	147
第五節	機械工場其他	148
第八章	防波堤の配置	150
第一節	防波堤配置の一般	150

第二節	一本半島堤	152
第三節	二本半島堤	154
第四節	島堤に依る外郭	157
第五節	島堤、半島堤混用	158
第六節	重複式の配置	162
第七節	港口と堤頭	164
第九章	砂濱と河口の防波堤其他	170
第一節	砂濱の防波堤と防砂堤	170
第二節	河口工事	179
第十章	泊 地 論	185
第一節	泊地一般	185
第二節	泊地の静穏	186
第三節	泊地の水深	192
第四節	泊地の面積	194
第五節	泊地の錨掛良否	201
第六節	漁船の船測	202
第十一章	防波堤構造一般	206
第一節	防波堤構造の大別	206
第二節	各様式の長短	209
第三節	防波堤の断面概略	211
第四節	防波堤の工費概要	215
第十二章	捨石部詳細	217

第一節	粗石堤	217
第二節	捨方塊堤	223
第三節	土砂堤	228
第十三章	直立部詳論	231
第一節	石張堤	231
第二節	石杵堤	233
第三節	コンクリート單塊堤	238
第四節	方塊積堤	238
第五節	函塊堤	246
第十四章	防波堤計算論	256
第一節	直立部の計算	256
第二節	混成堤の捨石部計算	261
第三節	捨石堤の計算	264
第十五章	護岸其他	266
第一節	護岸一般	266
第二節	護岸構造詳論	272
第三節	物揚場	279
第四節	海岸堤防	286
第五節	海濱保護の砂止堤	288
第六節	砂丘工	289
第十六章	埠頭配置論	291
第一節	埠頭大別	291

第二節	埠頭位置	292
第三節	配置の様式	295
第四節	泊渠	299
第五節	ピーヤーとスリップ	305
第十七章	埠頭配置計算	316
第一節	荷役能力	316
第二節	バース	318
第三節	埠頭計畫計算	320
第十八章	岸壁構造一般	325
第一節	構造要件	325
第二節	岸壁の種類	326
第三節	岸壁の形状	333
第四節	岸壁の工費概略	345
第十九章	岸壁詳論	348
第一節	重量擁壁式岸壁	348
第二節	矢板式岸壁、杭打擁壁式岸壁	370
第三節	岸壁の附屬構造物	372
第四節	鐵道車輛航送岸壁	380
第二十章	岸壁計算論	382
第一節	計算一般	382
第二節	重量擁壁式の岸壁計算	387
第三節	矢板式の岸壁計算	401

第四節 杭打擁壁式の岸壁	422
第五節 特殊計算	423
第二十一章 棧橋、浮棧橋、ブイ其他	433
第一節 棧橋一般	433
第二節 棧橋各種の構造	436
第三節 浮 棧 橋	446
第二十二章 陸上設備	465
第一節 商港の陸上設備一般	465
第二節 上 屋	472
第三節 倉 庫	477
第四節 漁港の陸上設備	482
第二十三章 荷役機械装置	485
第一節 起重機概論	485
第二節 起重機各論	488
第三節 石炭荷役設備	495
第四節 石炭以外の特種貨物荷役設備	504
第五節 木材荷役と貯木	507
第二十四章 船舶修繕設備	514
第一節 修繕設備概論	514
第二節 船 架	517
第三節 浮 船 渠	520
第四節 乾 船 渠	523

第二十五章 航路標識	531
第一節 航路標識概論	531
第二節 燈 臺	535
第三節 ラジオコンパスとラジオビーコン	542
第二十六章 浚渫、埋立、干拓	544
第一節 浚 渫	544
第二節 埋 立	547
第三節 干 拓	556
第二十七章 航 空 港	560
第一節 航空港一般	560
第二節 陸上機港	563
第三節 水上機港	572
第四節 飛行船港	576

—(目次終)—

### 讀者への御注意

時間の少ない讀者は、細字の註、  
或ひは計算論等を飛ばして讀  
まれたい、蓋し註と計算論とは、  
之を全部省略しても、尙ほ且つ  
前後の連絡が完全にとれる様  
に、書いたつもりである。

註と計算論とを讀まるゝ方も、  
是等の中にて特に興味あるも  
の、或ひは必要を生じたものの  
みを、拾ひ讀みせらるゝだけで  
結構と思ふ。

著者